

表 1-2 各測定度地平明度計実験、当時の植物群の元素比の平均値と標準誤差

表 1-5 各種不同數字型態及範例，這些必須熟記才能正確地回答有關上課內容的問題

卷数	页数	卷之二		卷之三		卷之四		卷之五		卷之六		卷之七		卷之八		卷之九		卷之十		卷之十一			
		卷之二	卷之三	卷之四	卷之五	卷之六	卷之七	卷之八	卷之九	卷之十	卷之十一	卷之十二	卷之十三	卷之十四	卷之十五	卷之十六	卷之十七	卷之十八	卷之十九	卷之二十	卷之二十一	卷之二十二	卷之二十三
一	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
二	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
三	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
四	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
五	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
六	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
七	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
八	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
九	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十一	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十二	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十三	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十四	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十五	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十六	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十七	17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十八	18	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
十九	19	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
二十	20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
二十一	21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
二十二	22	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
二十三	23	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22

图 1-3 金属矿物的物理性质：密度、导电性、导热性和磁性

Xer-干草原。C-草原带。此图显示了植被带的分界线，如森林带、灌木带、草原带等，并标注了主要的植物种类，如红松、白桦、蒙古栎、沙棘、锦鸡儿等。

## 表2 農田遺跡出土羽玉製造物の分析結果

分析 项目	元素比										重量(g)	占比				
	Ai/Zr	Xe/Zr	Ca/Zr	Tl/Zr	K/Zr	Pb/Ta	Pb/Ta	Pb/Ta	Nb/Ta	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Ta	Ti/Ta	Nb/Zr	Os/Pb	
39854	0.038	2.134	0.012	0.004	0.001	0.147	19.42	1.823	0.355	0.139	0.002	0.008	0.004	1.148	6.61812	2.508
39855	0.020	1.010	0.047	0.174	0.052	0.202	17.404	3.484	0.673	0.231	0.008	0.000	0.000	0.733	2.66324	0.958

表3 原田遺跡出土碧玉製遺物の判定結果

番号	退跡名	分析番号	取上No.	層位	器種	ホテリングのT2判定(複数)	ESR分析	総合判定	備考
3	原田遺跡	98554	10210	41剝片	原田N-1遺物群(95%)		花仙山形		
4	原田遺跡	98555	11624	51剝片	面白谷(40%),花仙山-2(38%)		花仙山形	花仙山	
5	原田遺跡	98556	13127	71剝片	メノウ(K,Ce,Ti,Rb,Sr,Y,Zr等)		花仙山形		
6	原田遺跡	98556	6979	41剝片	原田N-1遺物群(90%)		花仙山形		
7	原田遺跡	99557	11809	51剝片	面白谷(2%)		花仙山形	花仙山	400度加熱後ESR信号
8	原田遺跡	99558	13152	71剝片	面白谷(6%)		花仙山形	花仙山	
9	原田遺跡	99559	14796	71剝片	面白谷(3%)		花仙山形	花仙山	

## 第15章 まとめ－縄文時代以降の原田遺跡－

### 第1節 各調査区のまとめ

3区は中世から縄文時代前期までの遺構や遺物が検出されている。中心となる時代は縄文時代で、特に晩期は配石墓や土器溜まり数基が検出され、また、2区から続く縄文時代晚期の包含層が調査区の南端に広がっていた。縄文時代前期の遺物も若干出土しているが、調査区北側の河岸段丘の斜面に堆積した包含層から出土している。同様に2区や後述する4区からも早期や前期の遺物が各調査区の北側の包含層で出土している。原田遺跡のうち、斐伊川の氾濫原である1区から4区は縄文時代早期以前に斐伊川の氾濫で削平され、その後徐々に埋まっていき、後期にはある程度の面積を持つ平坦面が広がり、遺構の形成が始まったと考えられる。木格的な集落の形成は晩期となる。

4区も中世から縄文時代前期までの遺構や遺物が検出されている。本調査区の中心となる時代は弥生時代と縄文時代で、弥生時代は中期後半から後期の遺物がまとまって出土している。これらの遺物は、斐伊川の旧河道の上に堆積した縄文時代の土層を覆う砂層から出土している。弥生時代の堅穴建物跡は6区で検出されており、集落の中心は6区や7区の段丘面に形成されていたものと考えられる。

4区は斐伊川が山の斜面にぶつかり、急角度で流れを変える内側に位置しているため、増水時に水が流れ込んだり、また斐伊川の本流そのものが調査区内を流れることもあったと思われる。現在はコンクリート製の堤防に守られているものの、縄文時代であれば大規模な洪水でなくても河川の影響を受けたはずである。実際、縄文時代早期から後期までは調査区の大半が河道か河原となっていたようである。その後、土砂の堆積が始まり、晩期には氾濫原がほぼ埋まっていた。1区から3区は後期から遺構の形成が始まっているが、4区は晩期からと遅く、また検出された遺構の数也非常に少ないため、集落の縁辺であったと考えられる。

8区は中世から縄文時代晚期の遺構や遺物が確認されているが、中心となる時代は中世と古墳時代、縄文時代である。調査区の北側は斐伊川の攻撃面となっているが、水面からは高低差があるため、調査を行った範囲に斐伊川の河床礫が出土することはなく、旧石器時代以降、斐伊川の影響を全く受けていない安定した河岸段丘であった。

8区で中世の遺物がまとまって出土しているのは、中世の包含層である0層が調査区全体に残っていたためで、陶磁器の出土数は多くないが、鉄製品の出土数が多い。これは後述する2区で精錬鍛冶、9区で何らかの鉄の生産が行われていた可能性が高いことと関係しているのではないだろうか。しかし、出土した陶磁器の年代は14~16世紀であり非常に幅がある。0層に属する遺構がほとんど検出できなかったことから、まとまった出土状況で発見された遺物もなく、主要な遺物である鉄製品の年代が、中世のいつ頃に属するのか特定することは不可能であった。

8区には、今回の報告書で唯一の堅穴住居跡が検出されている。時代は古墳時代前期である。土坑が2基掘り込まれており、そのうち1基には土坑の壁面に貼り土と同質の粘土が貼られていた。2基とも遺物がほとんど無く、廐棄土坑ではないと考えられるため、貯蔵穴と考えられる。粘土貼りの土坑は水の漏れを防ぐために施されていたものではないだろうか。また、古墳時代後期の土器

溜まりが數カ所で確認されている。出土土器は土師器が主で、須恵器も出土している。硬化面や焼土を伴うものもあり、堅穴住居跡の可能性も考えられるが、黒色土中で床面や壁面の確認はできなかった。これらの上器溜まりの時期は1区の原山古墳の時期とほぼ同じ6世紀末と考えられる。他の調査区からはこの時期の土師器や須恵器はほとんど出土していない。ましてや遺構は全く検出されていない状況である。原山古墳を造営した集落には、8区は規模が小さいため集落そのものではないとしても、古墳の築造に関わっていた人々に關係していたと考えている。

縄文時代は土器溜まりとしている土器の集中地点が数カ所確認されている。特に上器溜まり4は深鉢の1個体分が出土しており、土器埋設遺構と考えても良いと思われる。

9区は中世の建物跡が検出されている。柱穴は大型で、中から鉄滓や焼土が出土しているものが多くいた。建物の床面は検出されておらず、削平されているものと考えられる。建物の性格は不明であるが、鉄滓や焼土が出土している点から考えると、鉄生産に關係した遺構であったと考えても良いのではないだろうか。

## 第2節 原田遺跡の縄文時代

### 1. 遺構

本報告で、縄文時代の遺構と判断されたのは、上坑9基、性格不明遺構4基、上器溜まり8ヶ所である。上坑は、落し穴(4区SK25・32)や石錐溜まり(4区SK11)を含み、石錐溜まりからは、貞岩製の石錐が13点出土している。性格不明遺構のうち、4区SX01・02・05は配石遺構で、SX02は下部に七坑を伴う。時期は、出土土器から晩期前半ごろと思われる。土器溜まりは全部で8ヶ所確認されたが、検出状況は一様でなく、個々に異なる性格の遺構と判断される。例えば、晩期前半の3区土器溜まり2は第153図1の上器一個体がつぶれた状況で検出され、同じく晩期の8区土器溜まり1と上器溜まり3は、十数点の土器がまばらに散在していた。その一方で、晩期前葉の3区上器溜まり3と後葉前葉の4区土器溜まり1は、平面円形を呈し、レンズ状の堆積をしていることから、住居内庭廻の可能性が考えられる。直下に硬化面や焼土は検出できなかったものの、晩期の住居址には焼土や硬化面を伴わない例も多く、本来的な住居址の存在は否定できない。この他に、3区SX01と8区上器溜まり4は、それぞれ晩期前半と後葉前葉の土器埋設遺構の可能性がある。完存していなかったため認定できなかったが、どちらもほぼ一個体に復元でき、完形に近い状態で埋納もしくは放置されたと思われる。

### 2. 遺物

遺物は、早期から晩期までの土器、石器が出土している。最も古い土器は、4区SK49より出土した長山馬籠式(第190図1)である。共伴した石錐(2)も、丁寧な押圧剥離が施され、V字の深い抉りを持つなど古い特徴を兼ね備えている。前・中期の遺物は、北白川Ib～IIa式や船元式が僅かに見られる程度であった。後期は、前葉と後葉の土器が多く、主に幕地式、権現山式、元作吉山II式、宮浦式が出土している。晩期は本調査区の最盛期で、特に前半の滋賀單II～IIIa式の遺物が充実している。これは、晩期前半の土器が多い2区西半からの連続した様相と思われる。この他に注目される遺物として石棒があげられる。石棒は、破片を含めると総計26点と、中国地方でも最多の出土量を誇る。完形品は無く、石棒破片を伴う祭祀が予測される。

### 3. 土器溜まり出土資料の検討

本調査区では土器溜まりが8ヶ所確認され、各々が時期別に良いまとまりを呈している。そこで、他遺跡の資料を参考しながら若干の検討を加えてみる。

#### 【墓地式から北原本郷DT05段階の土器について】

まず、後期前葉の墓地式の土器溜まりとして、3区5・6層上器溜まり1と4区5～10層上器溜まり1が挙げられる。また、4区5～10層出土土器もほぼ同時期と推定され、これらの資料を一括して検討する。第192図1と第195図3は、頸部が僅かに外反する肩曲形深鉢に、二条の沈線で区画文や鉤状文が描かれる。口縁部は、肥厚した口唇部に一条の沈線を走らせ、大型の突起を配置する。第192図1は文様間に縄文が充填される。

続いて他器種を見てみる。3区土器溜まり1には、墓地式の特徴であるバケツ形浅鉢が見られ、2条の沈線と單節RL縄文による区画文が描かれる。4区5～10層の資料には、壺形鉢やボール形浅鉢、皿形浅鉢なども見られ、おおむね墓地式に特徴的な器種がそろっているようだ。砲弾形無文深鉢は、粗いナデ調整が主体を占め、内面に条痕を施すものが若干見られる。口縁は総じて無文で、丸くすばめるものの他に、ナデで面取りを行なうものも多い。

さて、本資料と後続する縄帶文成立期の北原本郷DT05資料と比べてみると、後者において、口縁刻日の多用や器種組成の変化、文様の著しい無文化などの大きなヒアタスが看取される。こうした現象に対して筆者は、当地域で多出する松ノ木式類似土器に注目し、「墓地式段階」に「瀬戸内地方から松ノ木式を製作する集団が当地域へ進出し、在地集団と接触、併存、融合を経て北原本郷DT05段階へローカライズされた」と解釈した(福田2007)。ここで問題となるのは、文頭の「墓地式段階」の具体的な時期であるが、この点に関して、川平I遺跡の上器溜まり資料は興味深い。川平I遺跡の肩曲形深鉢は、原山遺跡の墓地式と比べ口縁の外反が大きく、頸部文様帯が無文化しているなど、より新しい特徴を備えている。また、砲弾形無文深鉢に条痕調整が認められず、ナデ調整に統一されている点も新出の様相と言えよう。さらに、縄文を施す資料がほとんど見られない点も、無文化という流れの中で重視される。

そして最も重要なのが、縄帶文成立期に隆盛する口縁部刻日を持つ肩曲形鉢と砲弾型深鉢、方形渦巻文の描かれたボール形浅鉢の存在である。これらの器種の出現は、松ノ木式類似土器の影響と理解でき、両者の並行関係を強く示唆する。本資料中には、松ノ木式類似土器そのものは見られないが、松ノ木式類似土器を出土した家の後I遺跡は、斐伊川を挟んで川平I遺跡のすぐ対岸に位置し、両者が何らかの関連を持っていたことは十分に想定できる<sup>12</sup>。

以上の所見より、原山遺跡3区上器溜まり1・4区上器溜まり1・5～10層資料→川平I遺跡上器溜まり資料・松ノ木式類似土器→北原本郷DT05段階という変遷が指摘できるのではないだろうか。ただし、本案はあくまでも型式学的根拠による推論であり、今後層位的な検証によって裏付けいかなければならないだろう。

#### 【山陰地方の滋賀里Ⅲa式から原田式古段階の土器について】

統いて、晚期前半の3区上器溜まり3・4を検討してみよう。これらの上器群は、おおむね晚期前半に属すると思われ、ここでは岡山憲一の優れた論考(岡山1998, 2003, 2006)に導かれながら、深鉢を中心位置付けを行なう。

まず、土器溜まり4資料を見てみよう。第163図6は、内面に棱を持たせながら、「く」字状に短

く外反する口縁を持ち、頸部は幅広のナデによって区画されている。こうした特徴は、岡田分類の深鉢A II類に相当する(岡田1998)。また10や11も、頸部内面の稜や短く外反する口縁などから、ほぼ同時期と考えて良いだろう。一方7~9は、外反する口縁部幅が長大で頸部のナデや内面稜が見られず、岡田分類A IV類に比定される。5は砲弾形を呈し、岡田分類B類にあたる。以上の特徴から、本土器溜まりは滋賀里IIIa式秋篠段階に並行する時期と判断される。ただし、近畿地方の資料と比べると、ナデ調整の卓越や、頸部ナデを持つ資料が少ないといった相違点もうかがえる。

次に土器溜まり3は、深鉢A IV類(第155図7)のみで構成され、また内面刺突を有する資料(1)が存在するなど、新しい様相がうかがえる。浅鉢は、正縁状の小さな口縁を有するもの(5)や上方へ短く立ち上がるものの(8)などが組成される。よって土器溜まり3は、原田式古段階(岡田2006)に相当すると推定される。原田式古段階は、滋賀里IIIa式秋篠段階に後続し、層位的にも5・6層土器溜まり4(滋賀里IIIa式秋篠段階)→4層土器溜まり3(原田式古段階)の変遷は保障される。ただし、2や3の有文資料が原田式古段階に伴うかは不明であり、前時期の混在の可能性は払拭できない。今後の類例をまって慎重に検討する必要があるだろう。

以上、原田遺跡の遺構と遺物について、若干の考察を交えながら整理してきた。原田遺跡の縄文資料は膨大であり、十分な検討とは言えないが、今後の研究へ多少でも寄りできれば幸いである。

(稲田)

#### 参考文献

- 稻田陽介2007「林原遺跡出土縄文土器群の編年的位置付け」「林原遺跡 烏根県埋蔵文化財調査センター」  
岡田憲-1998「1期 縄文時代(滋賀里IIIa式段階)」「秋篠・山後遺跡」秋篠・山後遺跡調査会  
岡田憲-2003「滋賀里式参考-西日本縄文晚期土器様式の構造転換-」『立命館大学考古学論集Ⅲ-1』立命館大学考古学論集刊行会  
岡田憲-2006「二重口縁土器と孔列土器」「古文化誌叢」第55集、九州古文化研究会

1) こうした視点から見ると、筆者の引用文にある「幕地式段階」というのは誤りで、「縄文成立期段階」に訂正すべきであろう。

表26 原田遺跡3区出土土器・土製品觀察表







表27 原田遺跡4区出土土器・土製品調査表





表28 原田遺跡8区出土土器・土製品観察表



表29 原田遺跡9区出土土器・土製品觀察表

表30 3·4·8·9区 石器觀察

4区									
地名	面積(ha)	高さ(m)	坡度(%)	傾向	土質	水質	地質	地盤	石林
181-1 (1) 282 X1 1 不規則	2.0	1.4	0.4	0.8	ササカトウ	良	良	良	石林
181-2 (1) 228 Z4 1 不規則	2.2	1.7	0.4	1.0	ササカトウ	良	良	良	石林
181-3 (1) 270 Z4 1 不規則	1.7	1.6	0.3	0.9	ササカトウ	良	良	良	石林
181-4 (1) 61 h1 不規則	1.9	1.5	0.3	0.7	ササカトウ	良	良	良	石林
181-5 (1) 59 Z3 不規則	3.7	1.2	0.8	3.4	アシカツバキ	良	良	良	石林
181-7 (1) 304 Z2 不規則	3.5	2.4	0.7	4.9	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-8 (1) 781 Z4 不規則	5.4	4.2	0.1	2.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-9 (1) 303 Z2 不規則	4.2	2.8	0.7	7.1	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-10 (1) 761 Y1 不規則	3.2	1.3	0.5	1.9	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-11 (1) 68 Z3 不規則	3.1	1.6	0.3	0.7	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-12 (1) 291 Z3 不規則	2.1	3.5	0.5	6.1	鷲島島壁砾	良	良	良	石林
181-13 (1) 180 b1 不規則	2.6	1.4	0.5	3.6	玉藻	良	良	良	石林
181-14 (1) 174 Z4 1 不規則	2.1	1.7	0.7	2.5	ササカトウ	良	良	良	石林
181-15 (1) 502 D1 不規則	4.1	2.1	0.8	8.9	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-16 (1) 2102 Z2 不規則	3.3	3.1	0.5	35.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-17 (1) 2122 Z2 不規則	2.8	2.5	0.5	1.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-18 (1) 805 Z3 不規則	28.5	12.4	0.2	2960.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-19 (1) 806 a1 不規則	6.6	6.3	0.3	12.4	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-20 (1) 808 a1 不規則	7.4	3.8	0.8	68.7	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-21 (1) 649 d5 不規則	7.5	1.5	0.5	0.9	ササカトウ	良	良	良	石林
181-22 (1) 650 d5 不規則	1.9	1.2	0.5	0.5	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-23 (1) 402 d5 不規則	1.9	1.2	0.5	0.5	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-24 (1) 394 v3 不規則	2.3	1.9	0.5	1.6	ササカトウ	良	良	良	石林
181-25 (1) 850 v2 不規則	1.7	1.3	0.3	0.4	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-26 (1) 431 v2 不規則	1.0	0.9	0.3	0.1	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-27 (1) 371 v2 不規則	1.9	2.2	0.5	0.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-28 (1) 457 h2 不規則	2.3	1.8	0.4	1.9	ササカトウ	良	良	良	石林
181-29 (1) 678 h2 不規則	3.0	1.8	0.6	2.6	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-30 (1) 655 h2 不規則	1.4	1.1	0.4	3.8	ササカトウ	良	良	良	石林
181-31 (1) 455 v2 不規則	3.6	2.1	1.2	8.1	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-32 (1) 751 Z2 不規則	5.3	3.9	0.4	432.4	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-33 (1) 779 Z2 不規則	14.0	10.5	2.1	3137.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-34 (1) 2101 Z4 不規則	7.3	8.0	0.5	22.85	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-35 (1) 530 Z2 不規則	1.8	1.6	0.5	0.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-36 (1) 531 d2 不規則	1.8	1.6	0.5	0.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-37 (1) 532 Z1 不規則	7.4	4.7	0.5	49.3	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-38 (1) 771 Z3 不規則	1.7	5.2	0.5	4.2	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-39 (1) 788 d2 不規則	8.9	5.6	0.8	104.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-40 (1) 789 Z2 不規則	7.0	7.2	0.5	24.4	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-41 (1) 804 d2 不規則	8.0	4.0	0.5	179.1	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-42 (1) 783 d2 不規則	13.9	8.3	0.5	1046.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
181-43 (1) 301 SH49 #m 不規則	2.6	2.0	0.4	1.4	モウセンゴケ	良	良	良	石林
5区									
地名	面積(ha)	高さ(m)	坡度(%)	傾向	土質	水質	地質	地盤	石林
202-1 (1) 2139 P16 S1 不規則	5.3	3.7	1.6	5.5	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-2 (1) 2140 P14 S1 不規則	8.3	4.4	2.3	8.9	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-4 (1) 2141 P12 S1 不規則	5.3	3.7	1.6	6.2	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-5 (1) 2142 P10 S1 不規則	5.7	5.6	4.1	22.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-7 (1) 2144 Q13 S1 不規則	8.2	3.2	1.3	3.6	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-8 (1) 2145 P13 S1 不規則	6.6	3.1	2.3	7.65	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-9 (1) 2146 N12 S1 不規則	5.2	5.2	0.7	11.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
202-10 (1) 2147 Q12 S1 不規則	2.6	2.6	0.5	46.5	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-1 (1) 2148 P15 S1 不規則	4.0	4.0	0.5	44.1	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-2 (1) 2149 P13 不規則	1.8	4.4	3.7	346.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-3 (1) 2150 P12 不規則	1.7	6.3	2.3	213.7	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-5 (1) 2153 Q15 S1 不規則	6.7	4.9	0.5	16.2	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-6 (1) 2154 Q14 S1 不規則	13.2	10.5	3.7	1241.0	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-7 (1) 2155 P15 S1 不規則	8.6	5.7	0.5	59.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林
212-8 (1) 2156 M15 S1 不規則	5.0	3.0	2.7	47.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林
6区									
地名	面積(ha)	高さ(m)	坡度(%)	傾向	土質	水質	地質	地盤	石林
222-1 (1) 2074 P16 S1 不規則	1.7	1.7	0.5	0.5	モウセンゴケ	良	良	良	石林
222-2 (1) 2075 P15 S1 不規則	1.7	4.4	0.8	0.8	モウセンゴケ	良	良	良	石林

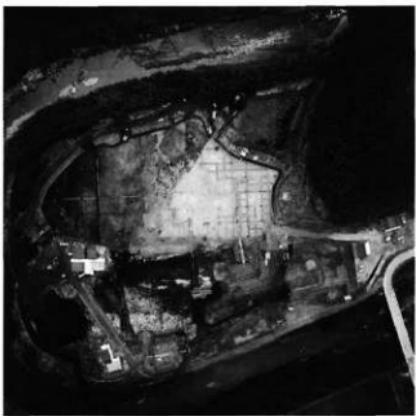
表31 3~6・8・9区・原田古墳 金属器觀察表

# 写 真 図 版





3区(2区との境界)土層断面  
(南東から)



平成18年度調査位置  
(上空から)



3区完掘(南から)



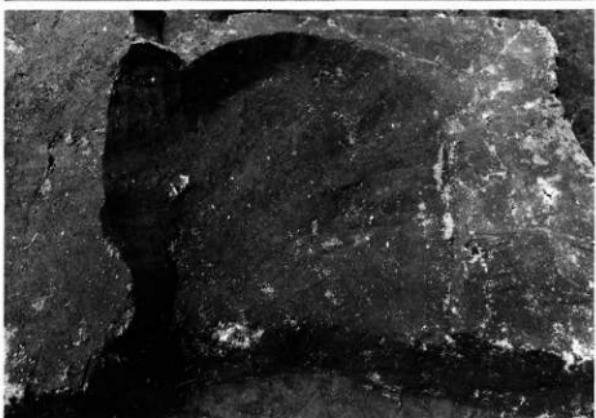
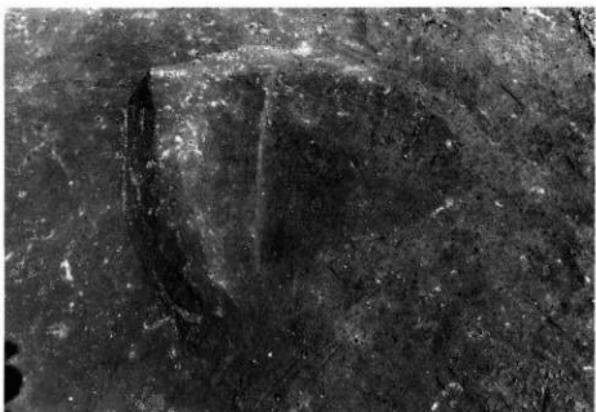
3区SK01(南から)



3区SK02(南から)



3区SK03(南から)



図版101



3区SK11(北から)



3区SK12(東から)



3区SK13(北から)



3区SK14検出(東から)



3区SK14土層断面(東から)



3区SK14完掘(東から)

図版103



3区SK22(北西から)



3区SX01(西から)



3区SX01完掘(西から)



3区SX02(南東から)



3区SX02(南西から)

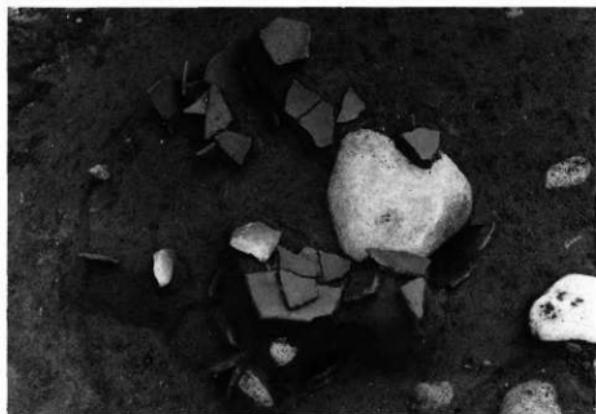


3区SX04(北から)

図版105



3区SX05(北西から)



3区土器溜まり1(北から)



3区土器溜まり2(北東から)



3区土器溜まり3(北から)



3区土器溜まり4検出  
(東から)



3区土器溜まり4下層  
(東から)



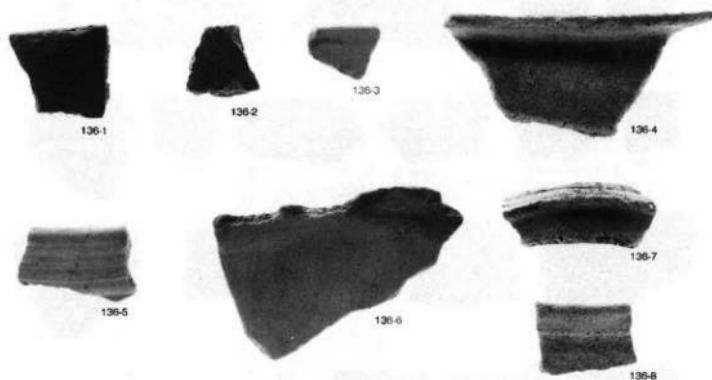
3区石棒出土状況(西から)



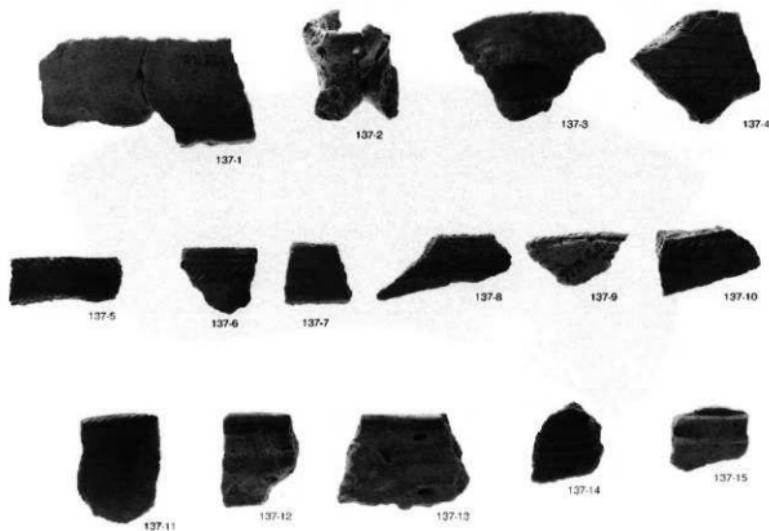
3区石棒出土状況(西から)



3区調査状況

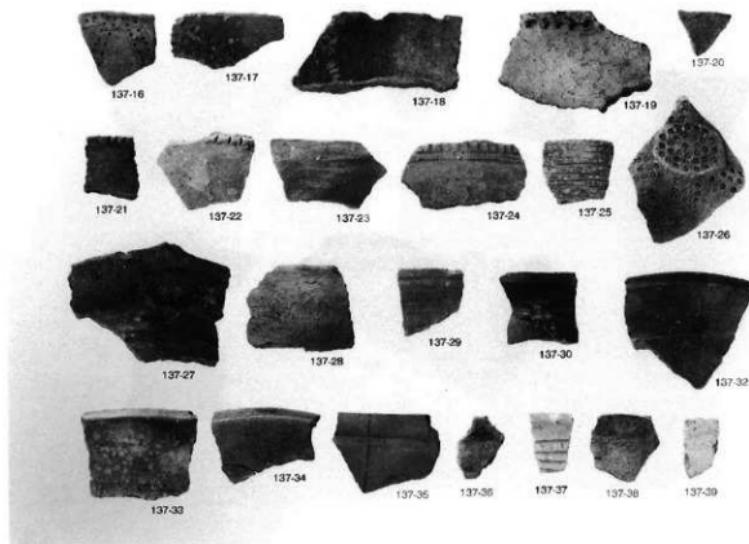


3区SK02・12・14出土遺物



3区1層出土遺物(1)

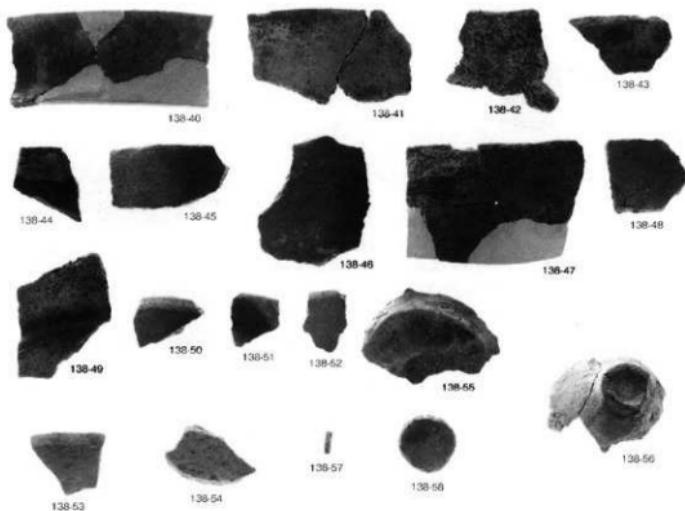
図版109



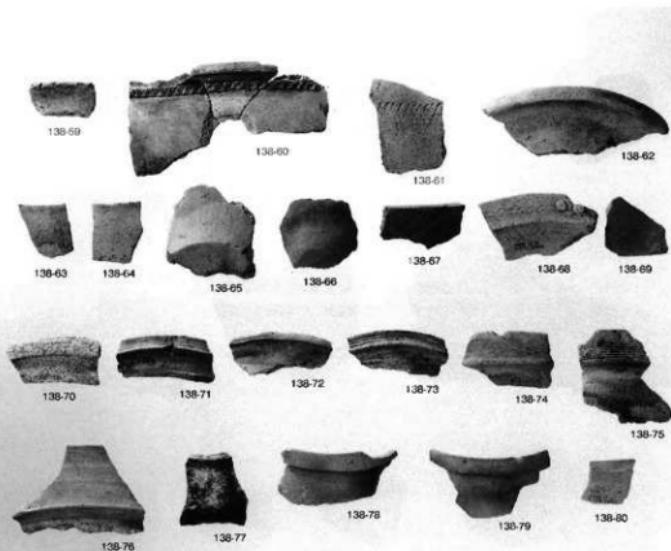
3区1層出土遺物(2)



3区1層出土遺物(3)



3区1層出土遺物(4)



3区1層出土遺物(5)

图版111



138-81



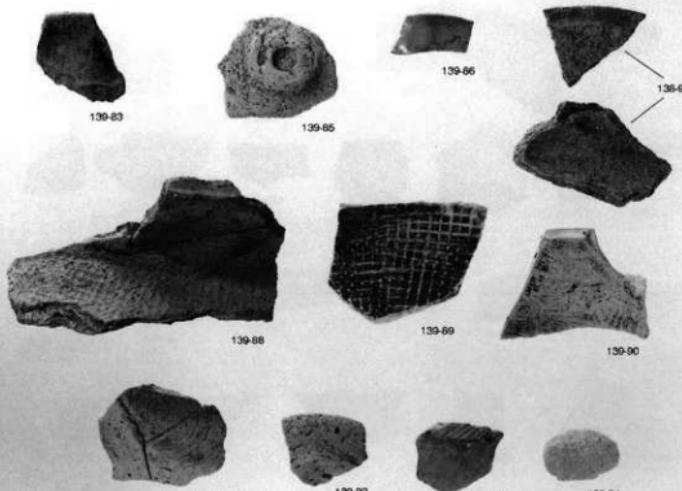
139-84



138-82

3区1层出土遗物(6)

3区1层出土遗物(7)



139-83

139-85

139-86

138-87



139-88



139-89



139-90



139-91



139-92

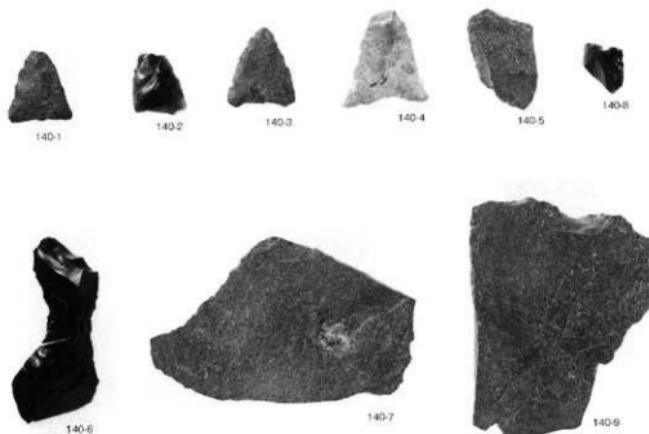


139-93

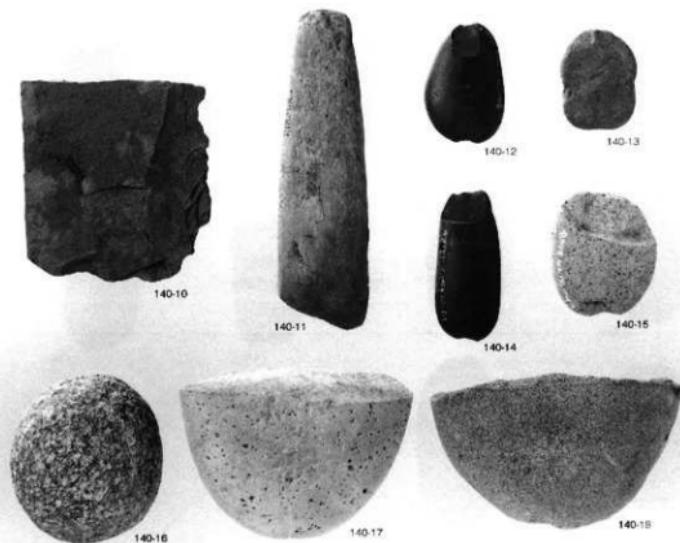


139-94

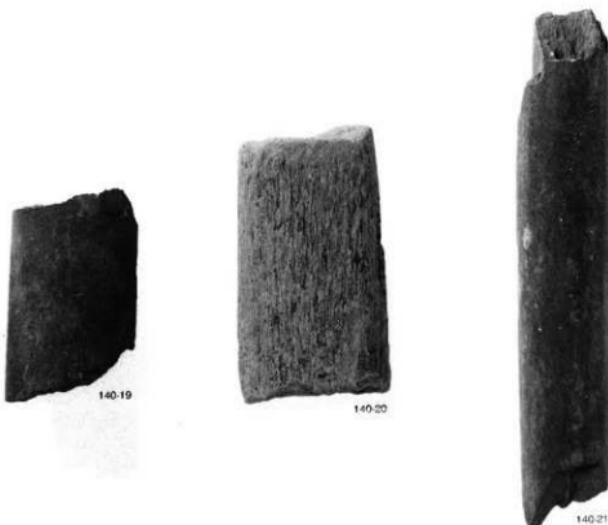
3区1层出土遗物(8)



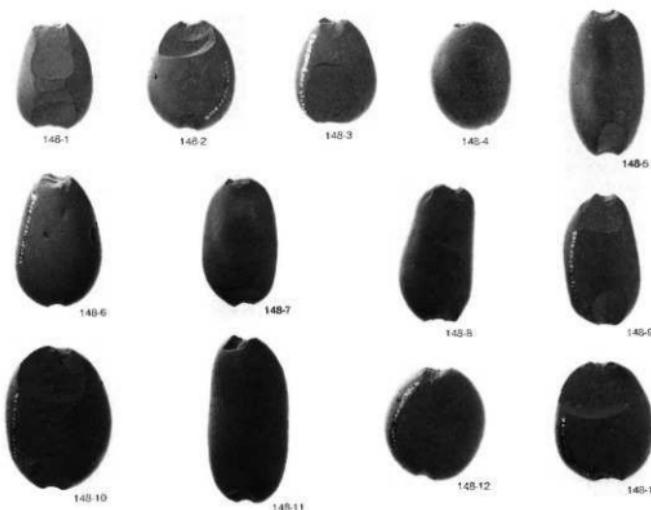
3区1層出土遺物(9)



3区1層出土遺物(10)



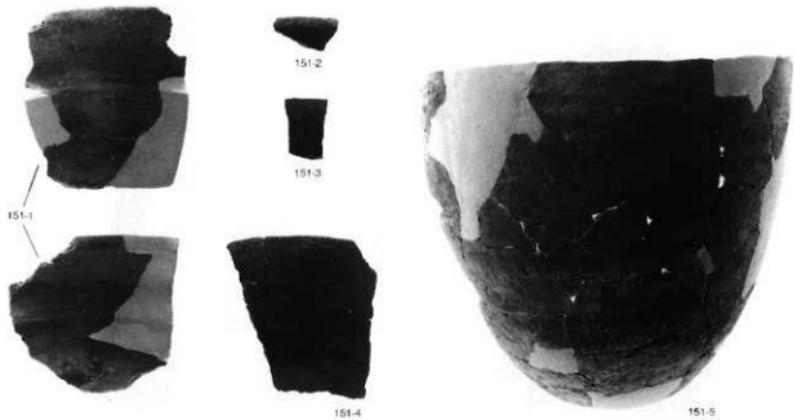
3区1層出土遺物(11)



3区4層SK11出土遺物



3区SX01出土遺物



3区SX04出土遺物(1)

3区SX04出土遺物(2)

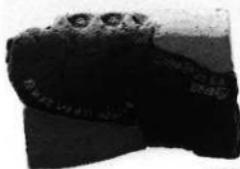


153-1

3区土器溜まり2出土遺物(1)



153-2



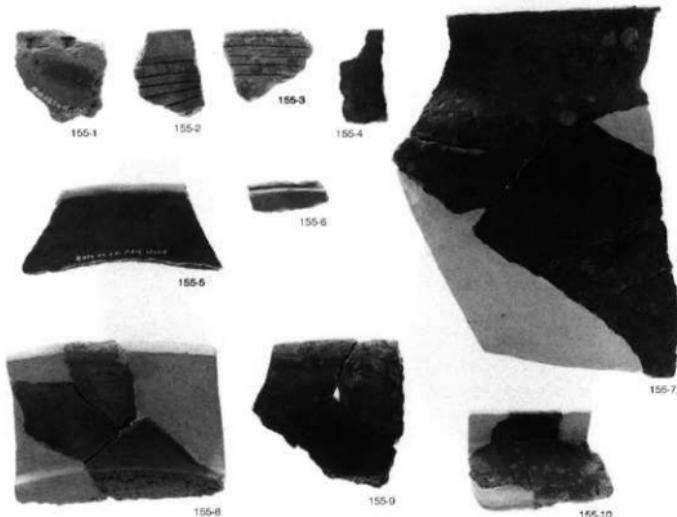
153-3



153-4

3区土器溜まり2出土遺物(2)

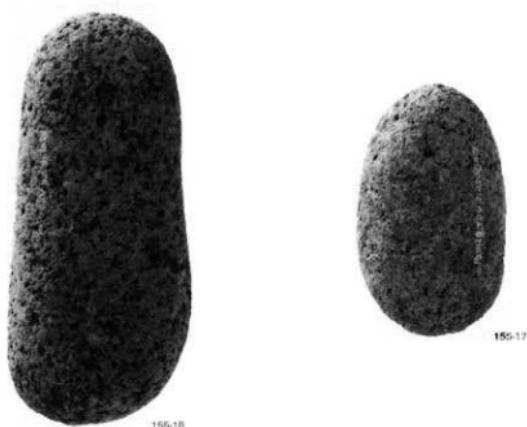
3区土器溜まり2出土遺物(3)



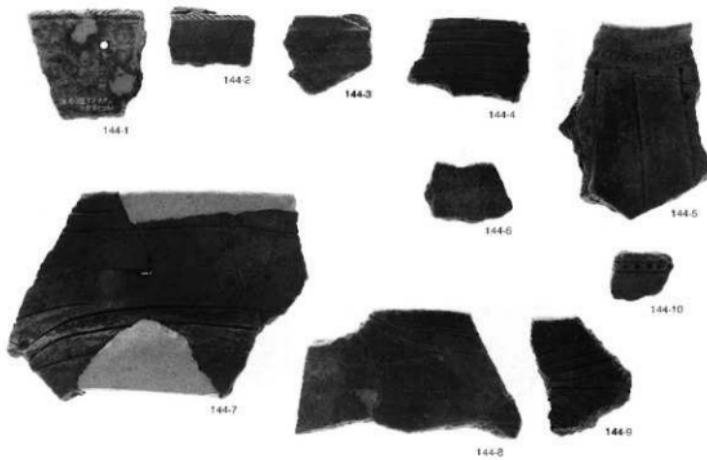
3区土器溜まり3出土遺物(1)



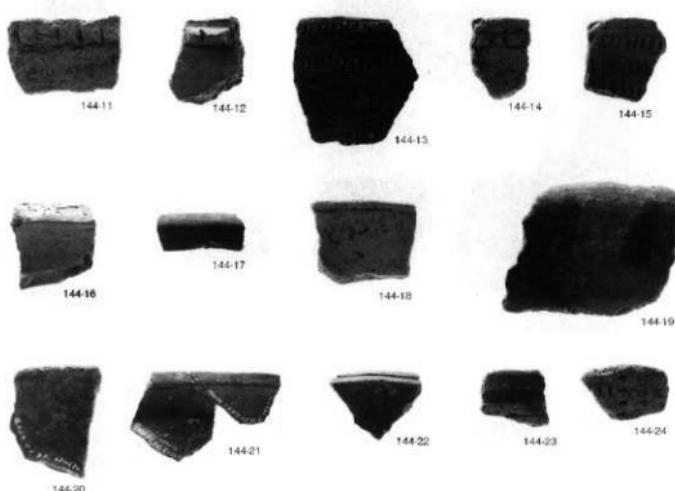
3区土器溜まり3出土遺物(2)



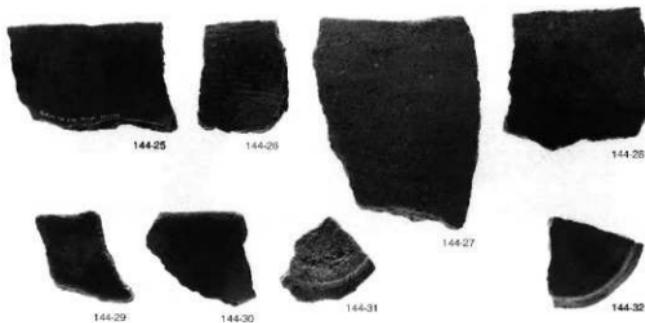
3区土器溜まり3出土遺物(3)



3区3層出土遺物(1)

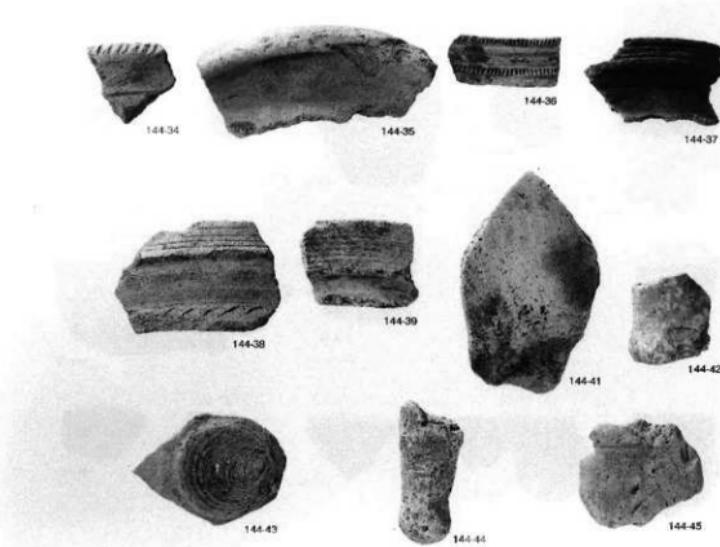


3区3層出土遺物(2)



3区3層出土遺物(3)

図版119



3区3層出土遺物(4)



144-33



144-40

3区3層出土遺物(5)

3区3層出土遺物(6)



145-1



145-2



145-3



145-4



145-5



145-6

3区3層出土遺物(7)



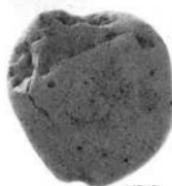
145-7



145-8



145-9

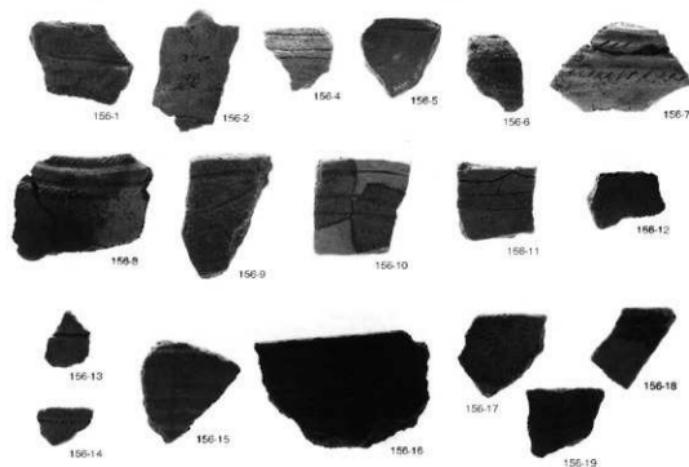


145-10

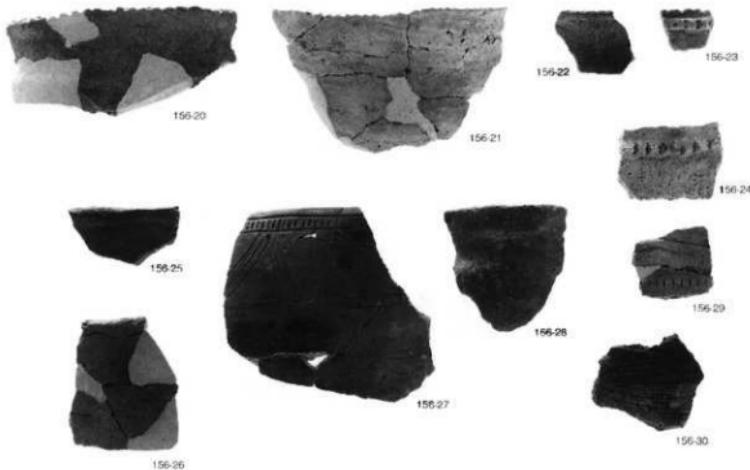


145-11

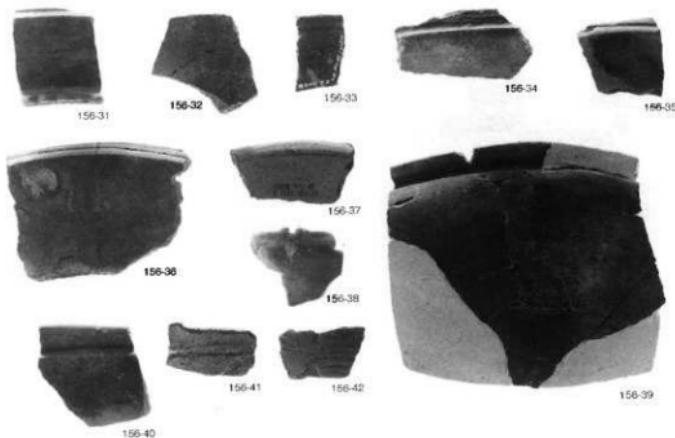
3区3層出土遺物(8)



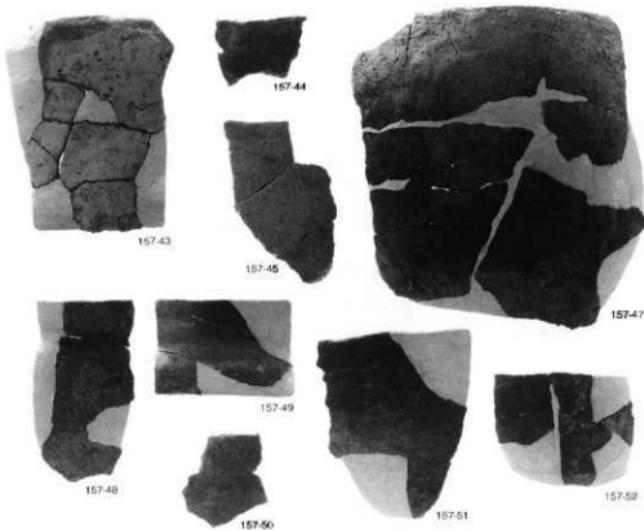
3区4層出土遺物(1)



3区4層出土遺物(2)

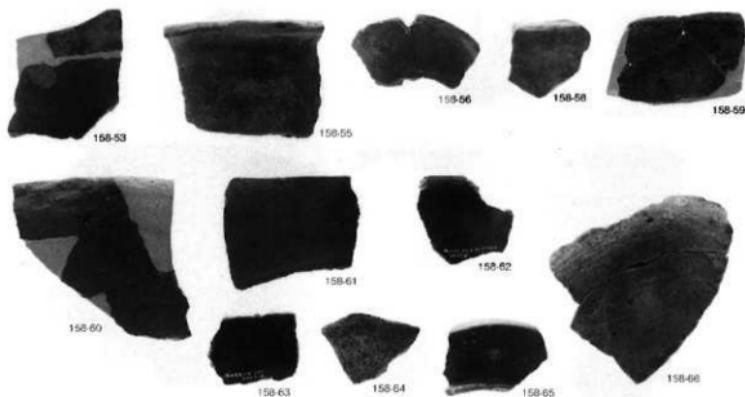


3区4層出土遺物(3)

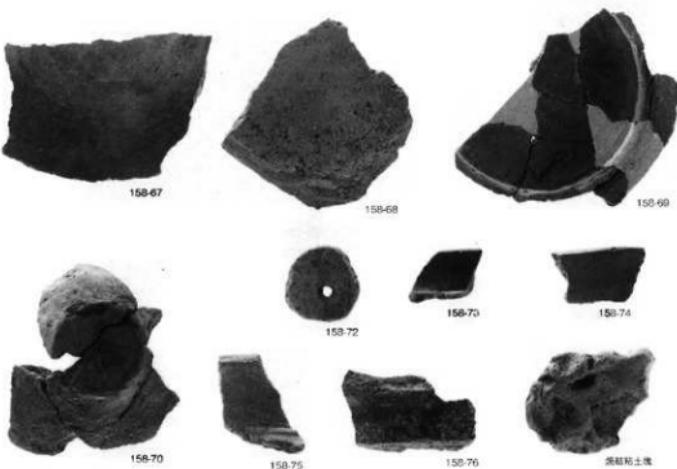


3区4層出土遺物(4)

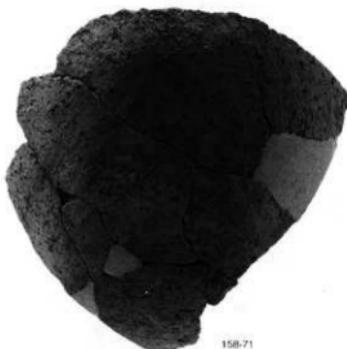
図版123

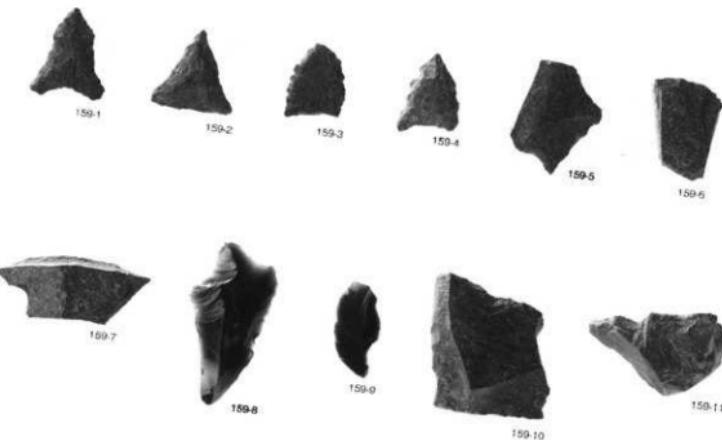


3区4層出土遺物(5)

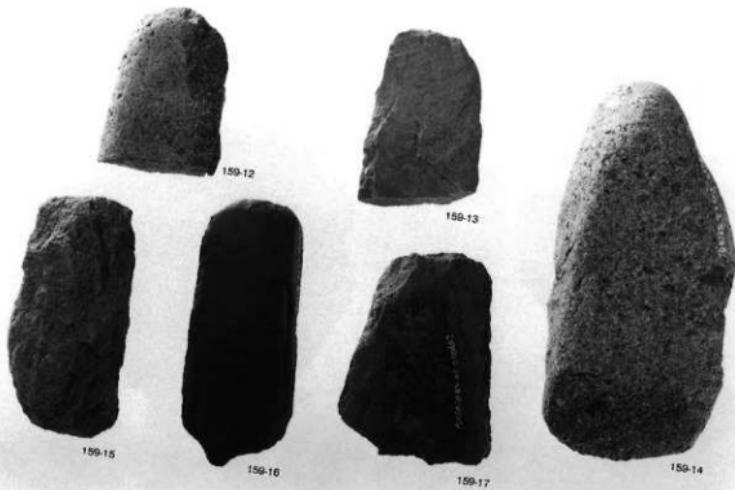


3区4層出土遺物(6)

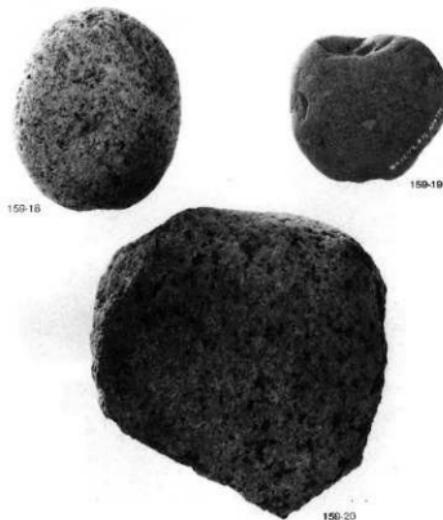




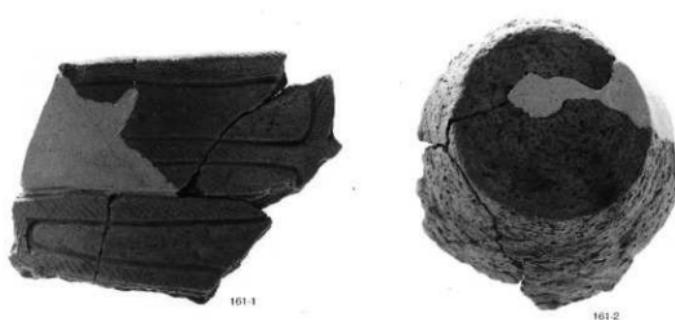
3区4層出土遺物(8)



3区4層出土遺物(9)

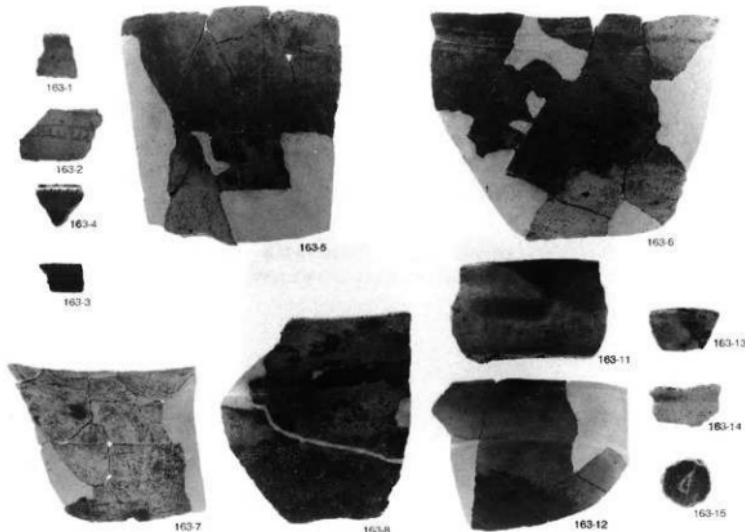


3区4層出土遺物(10)



3区5・6層土器溜まり1出土遺物

図版127



3区5・6層土器溜まり4出土遺物(1)

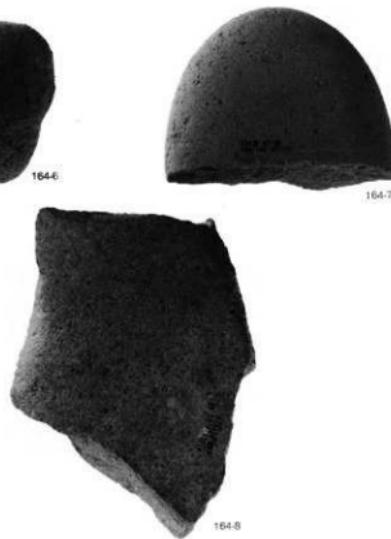


3区5・6層土器溜まり4出土遺物(2)

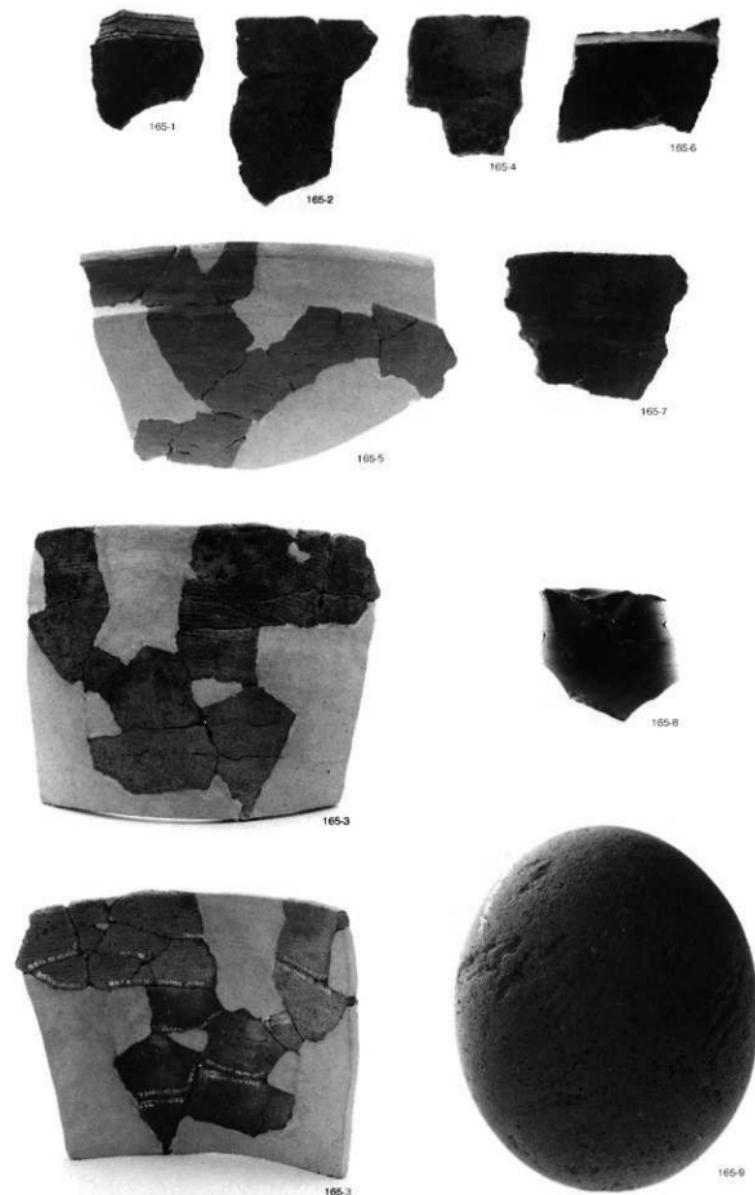
3区5・6層土器溜まり4出土遺物(3)



3区5・6層土器窯より4出土遺物(4)



3区5・6層土器窯より4出土遺物(5)



3区5层出土遗物



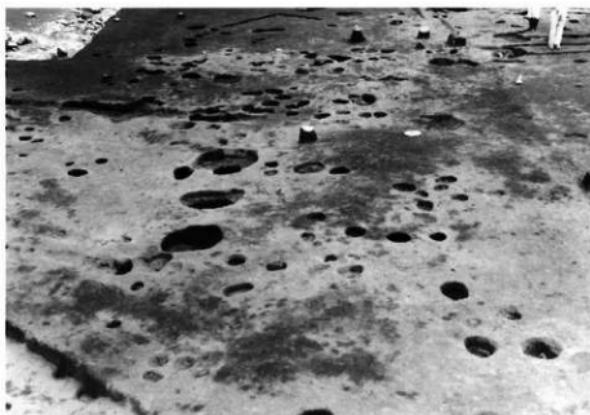
4区北側土層断面  
(南西から)



4区南側上層土層断面  
(北東から)



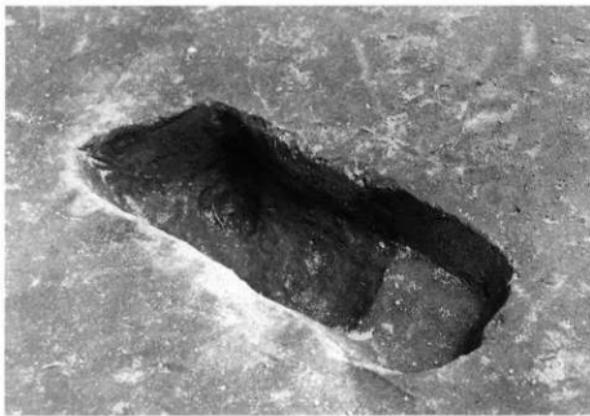
4区下層土層断面  
(南西から)



4区1層除去後 a 4周辺  
(東から)



4区1層除去後(南西から)



4区SK04(南西から)



4区SK06・07(南から)



4区SK13(西から)



4区SK20(東から)



4区SK21(東から)



4区SK22(西から)



4区SK27(南から)



4区SK28(南西から)



4区SK30(北東から)



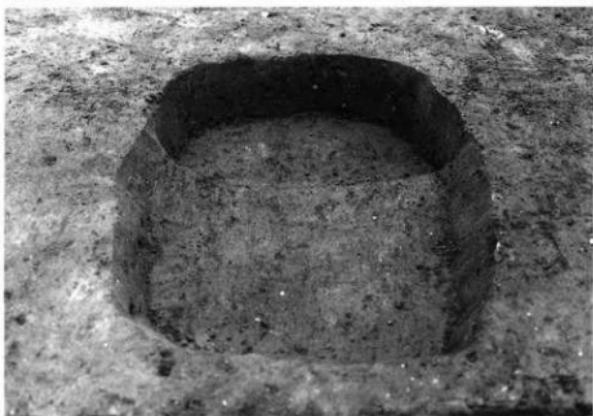
4区SK31(南西から)



4区SK32土層断面(南から)



4区SK34(北西から)



4区SK35(東から)



4区SK36(南から)



4区SK37(南西から)



4区SK38(南から)



4区SK40検出(南から)



4区SK40完掘(東から)



4区SK47(西から)



4区SD群調査状況  
(北東から)



4区SD群a5周辺(南西から)



4区SD群b5周辺(南から)



4区SX01(南東から)



4区SX03(北西から)



4区SX04(西から)



4区SX04完掘(西から)



4区SX05(西から)



4区SX07(南から)

図版141



4区ピット群Y5周辺  
(東から)



4区ピット群c5周辺  
(南東から)



4区SX06(西から)



4区SK25(東から)



4区SK49(南から)



4区SK48(南東から)



4区土器溜まり1(東から)



4区土器溜まり1アップ



4区土器溜まり1アップ



4区10層除去後(西から)



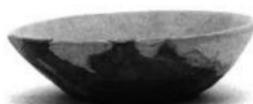
4区北側完掘(西から)



4区南側完掘(東から)

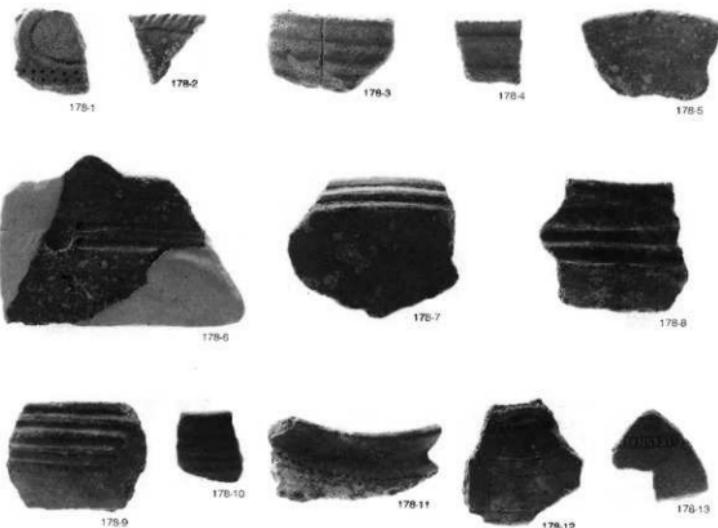


4区SK20・21出土遺物

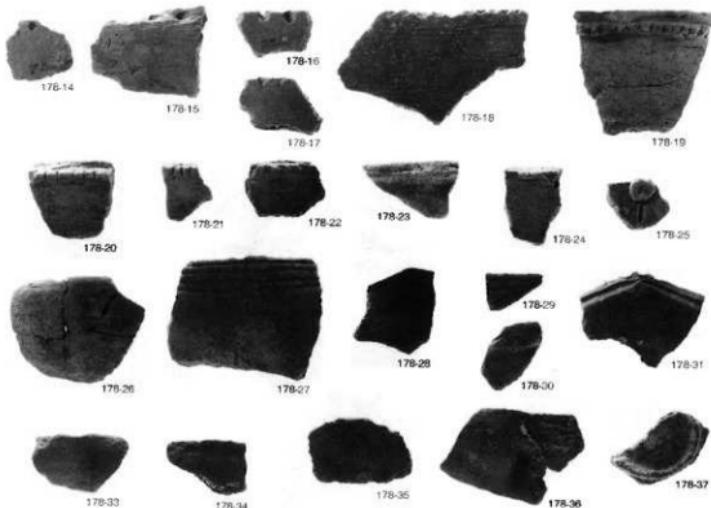


4区1層SK31出土遺物

4区1層SD16出土遺物

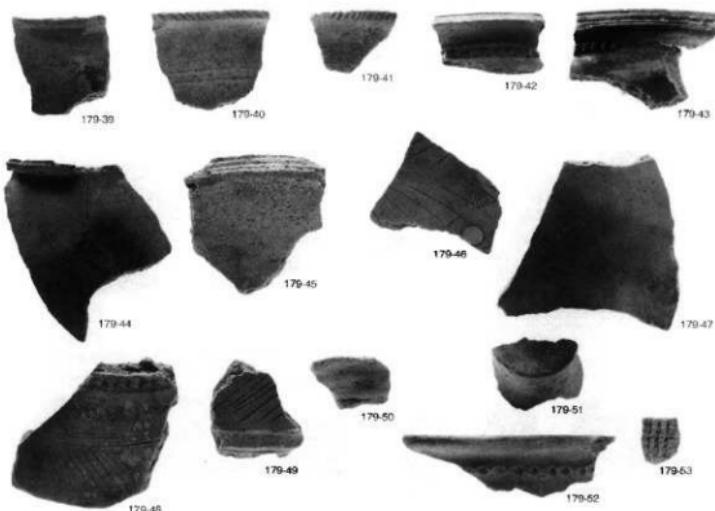


4区1・2層出土遺物(1)

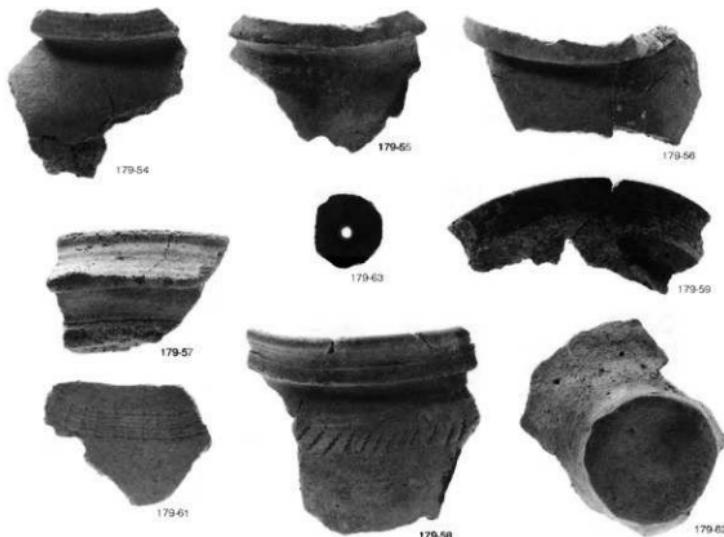


4区1・2層出土遺物(2)

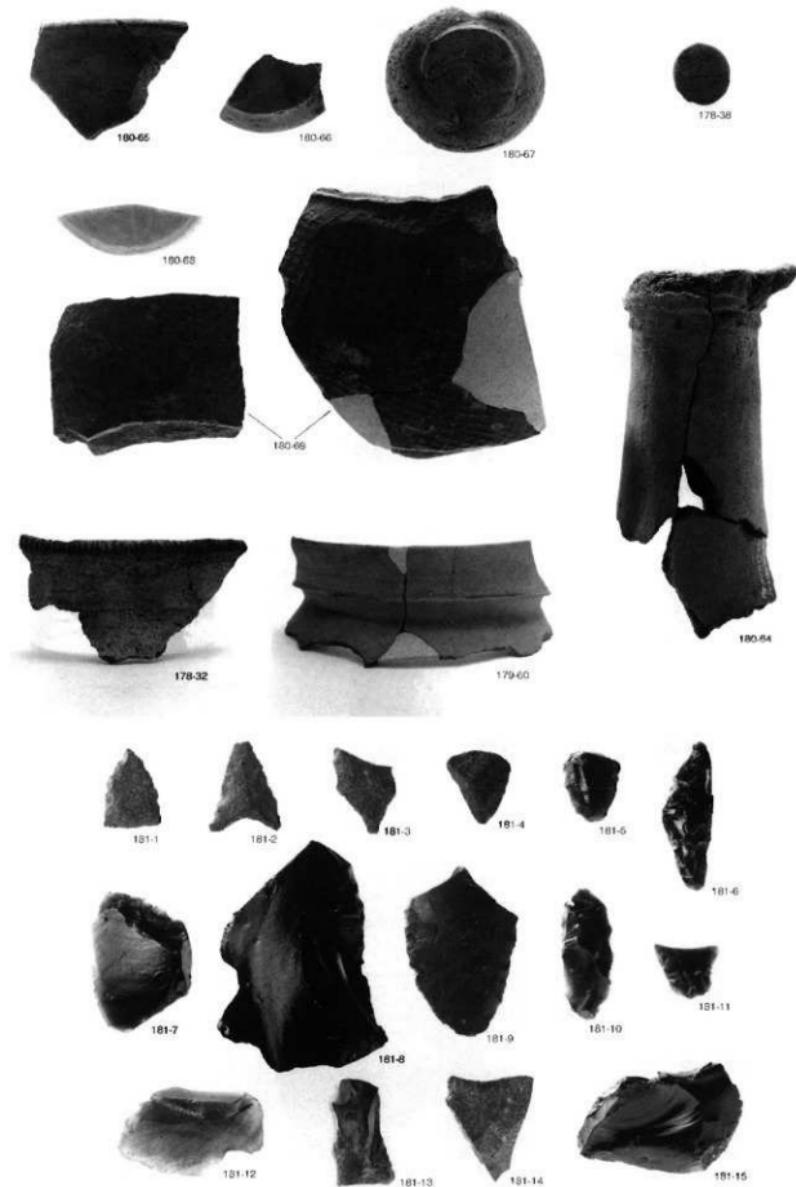
図版147



4区1・2層出土遺物(3)

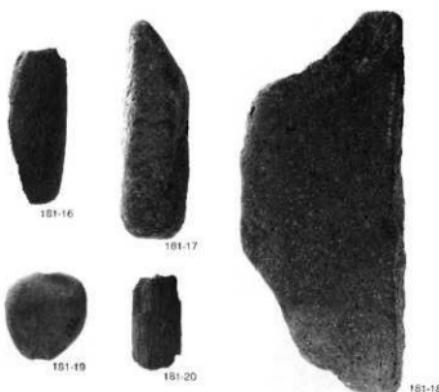


4区1・2層出土遺物(4)

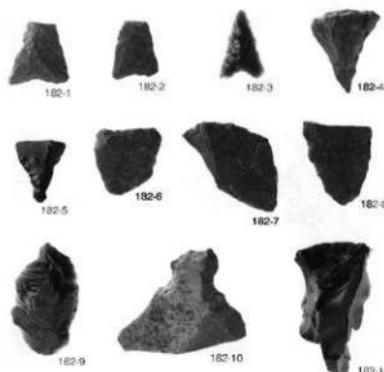


4区1・2層出土遺物(5)

图版149



4区1·2層出土遺物(6)

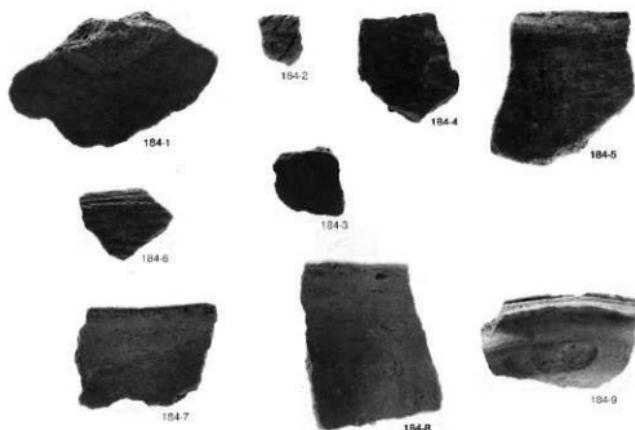


4区1·2層出土遺物(7)

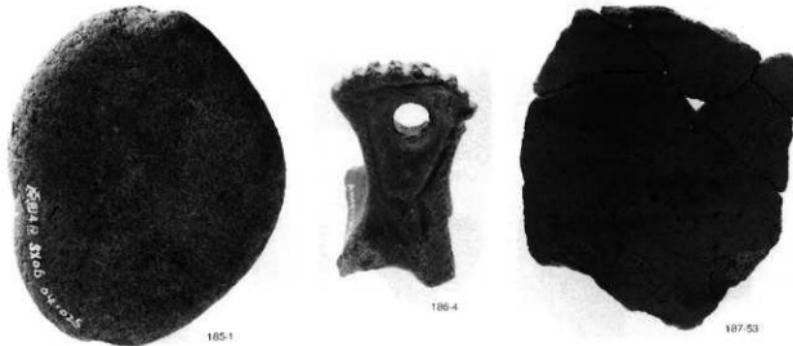


182-13

4区1·2層出土遺物(8)



4区3層SK42・48出土遺物



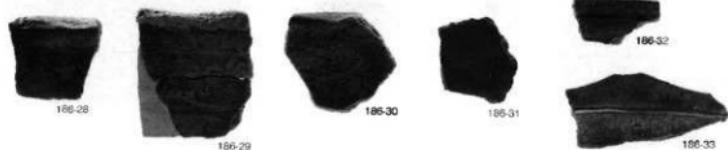
4区3層SX06出土遺物

4区3層出土遺物(1)

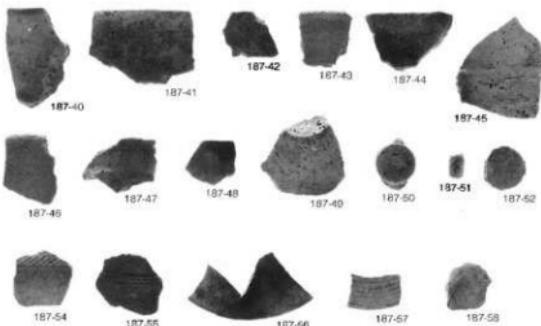
図版151



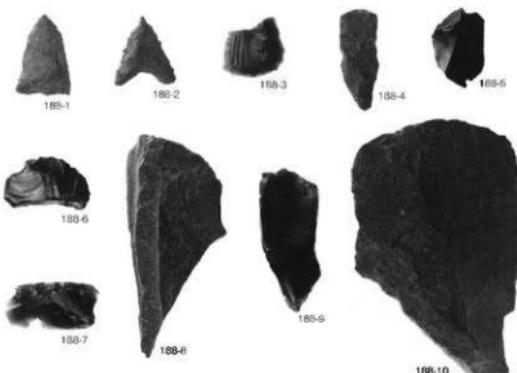
4区3層出土遺物(2)



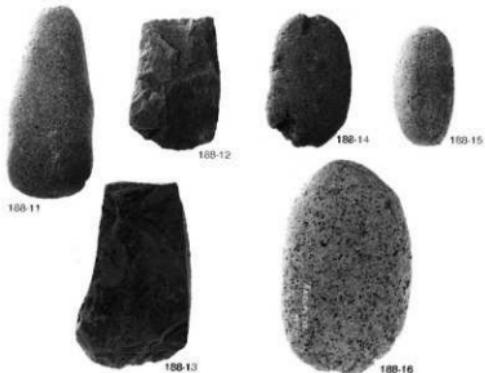
4区3層出土遺物(3)



4区3層出土遺物(4)



4区3層出土遺物(5)



4区3層出土遺物(6)

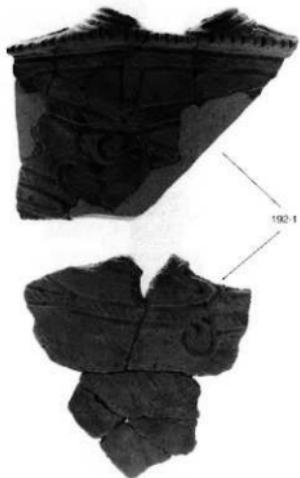


190-1



190-2

4区5~10層SK49出土遺物

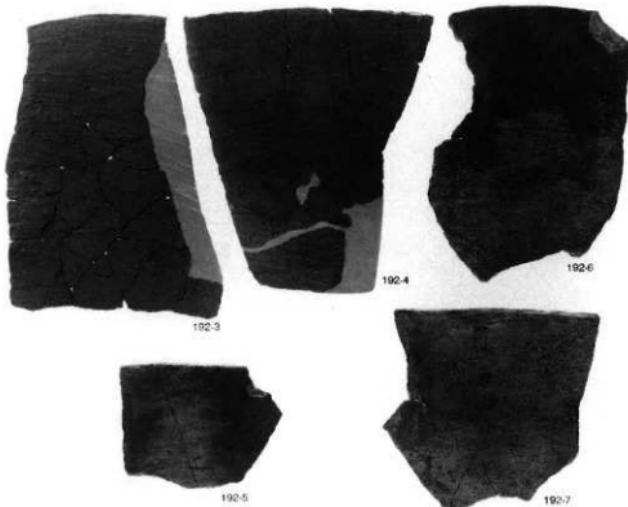


192-1

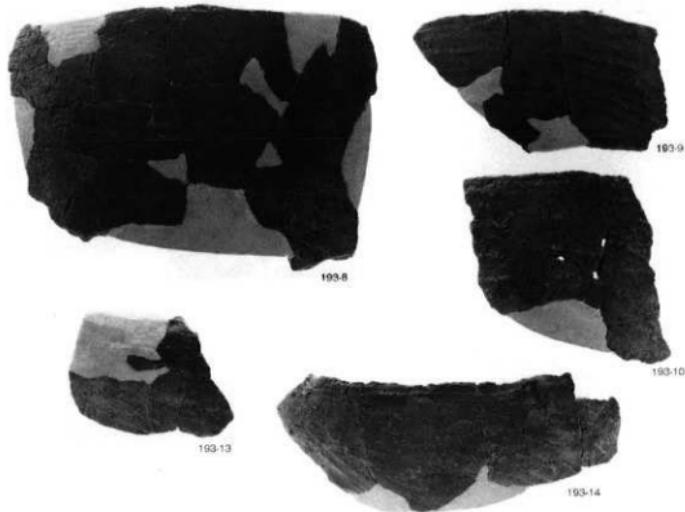


192-2

4区5~10層土器溜まり1出土遺物(1)



4区5~10層土器溜まり1出土遺物(2)



4区5~10層土器溜まり1出土遺物(3)



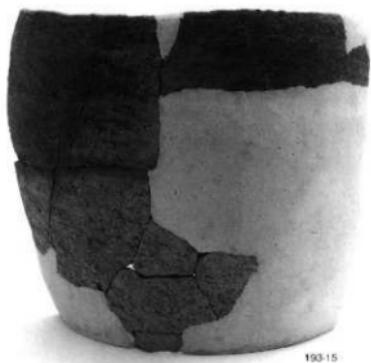
193-11



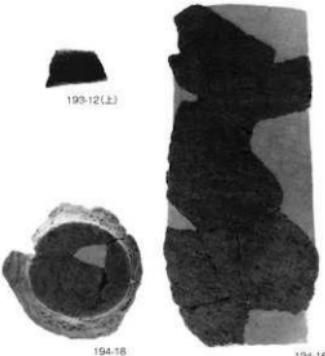
193-12(b)



195-12(T)



193-15

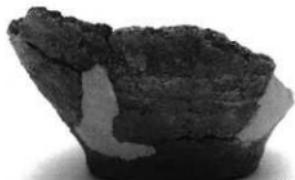


194-15

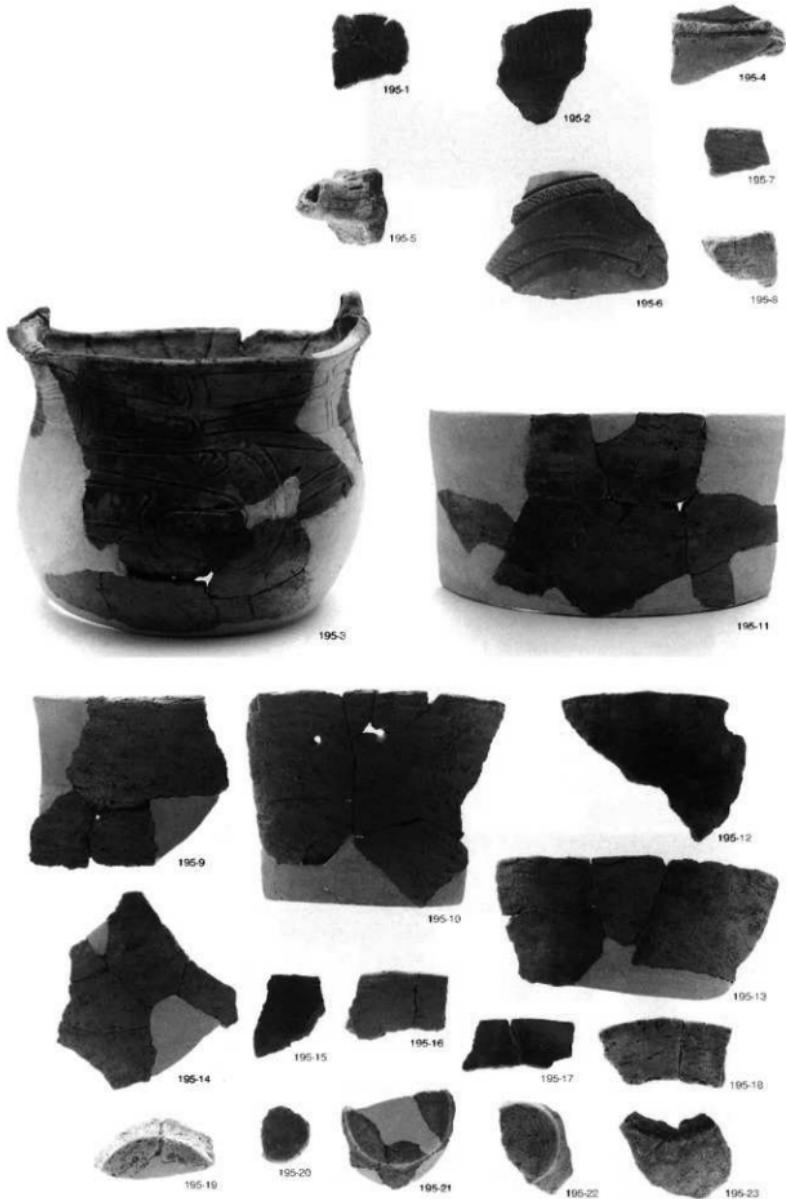
194-16



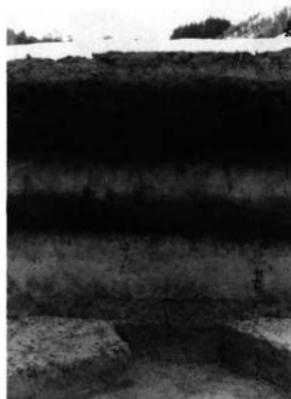
193-15



194-17



4区5~10層出土遺物



8区[7区との境界]土層断面  
(南から)



8区[7区・9区との境界]  
土層断面(南から)



8区SX01(北から)



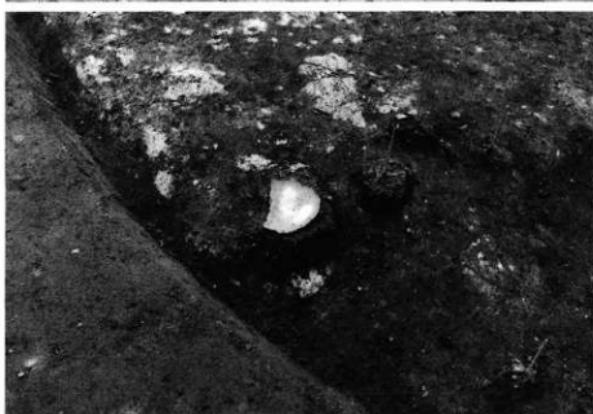
8区SI01検出 (北東から)



8区SI01覆土除去後  
(北東から)



8区SI01—SK01 (北西から)

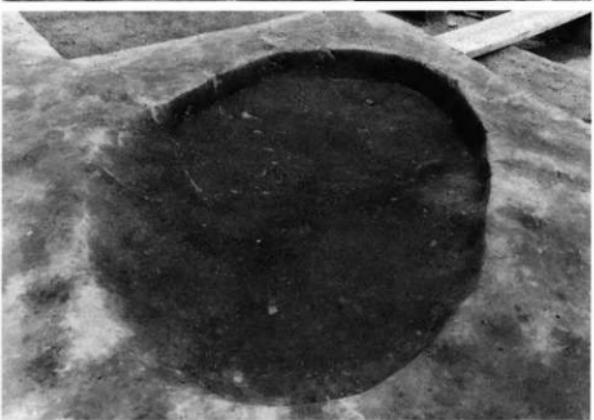




8区SK27(東から)



8区SK28(北東から)



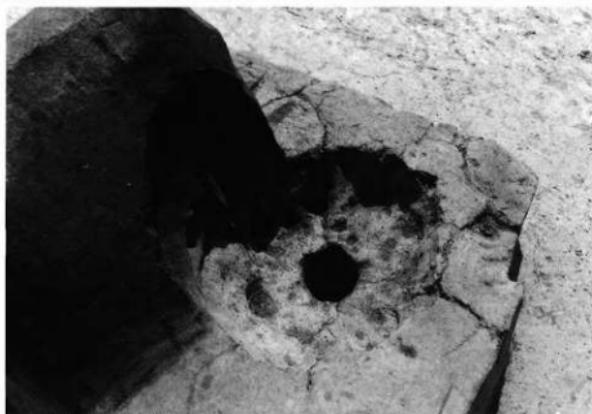
8区SK29(北西から)



8区SK30(北西から)



8区SK31(南西から)



8区SK32(南から)



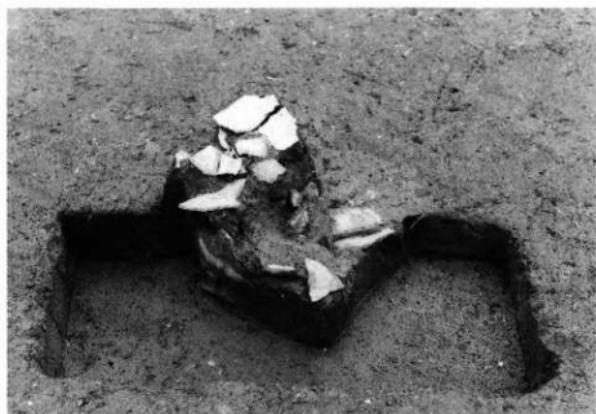
8区土器溜まり1(南から)



8区土器溜まり3(南から)



8区土器溜まり4検出  
(東から)



8区土器溜まり4(東から)



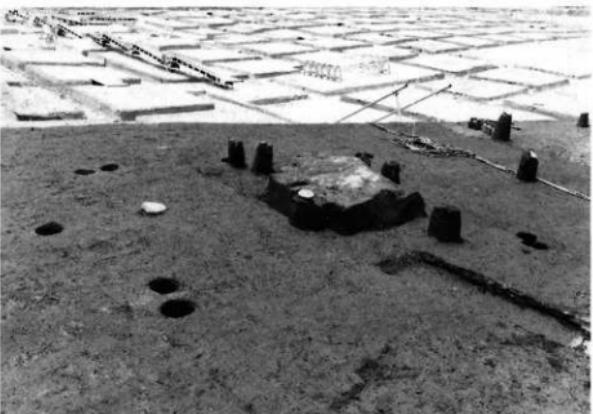
8区土器溜まり5(南から)



8区土器溜まり6~8  
(東から)



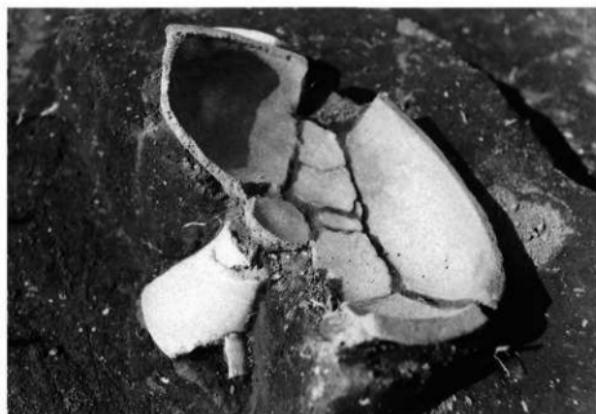
8区硬化面(南から)



8区ピット及び焼土面  
(北東から)



8区土器溜まり5調査状況



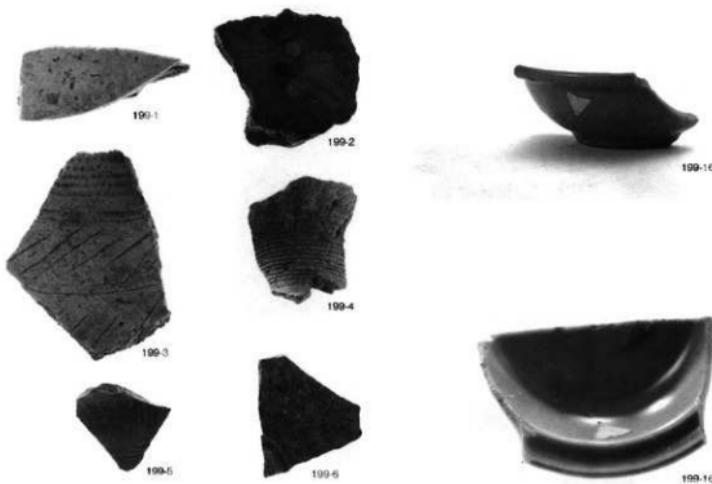
8区弥生土器出土状况



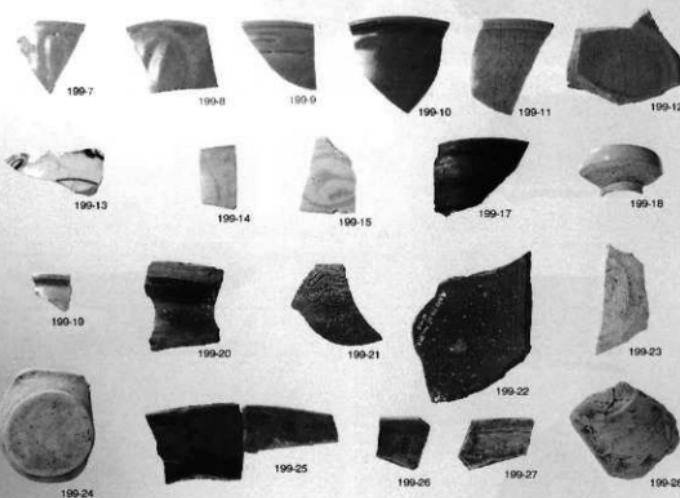
8区古钱出土状况



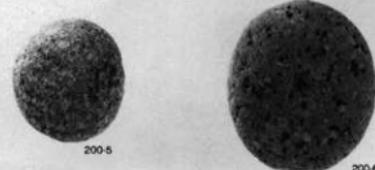
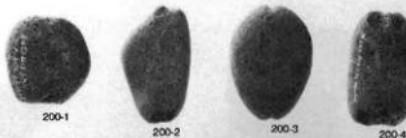
8区铁制品出土状况



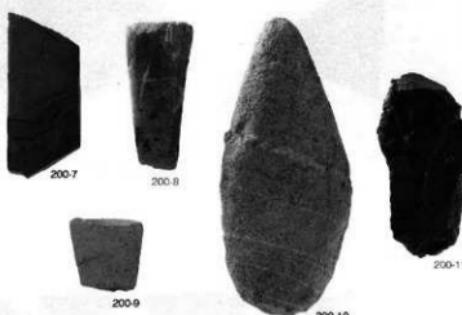
8区0層出土遺物(1)



8区0層出土遺物(2)



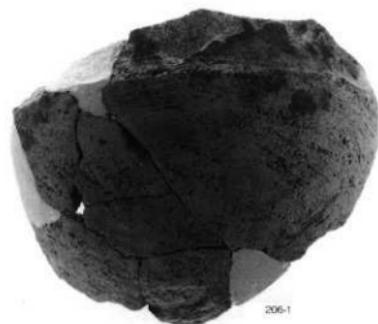
8区0層出土  
遺物(3)



8区0層出土  
遺物(4)



8区SI01出土遺物



206-1



206-3



206-2

8区土器溜まり1・3・4出土遺物



208-1



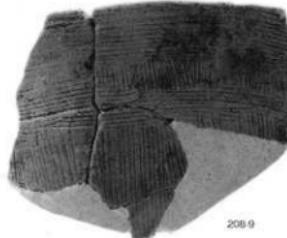
208-3



208-4



208-6



208-9



208-10

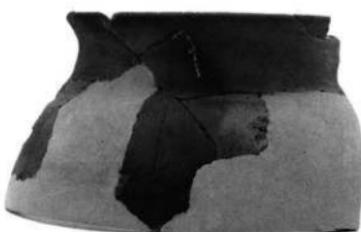
8区土器溜まり5出土遺物(1)



208-2



208-5



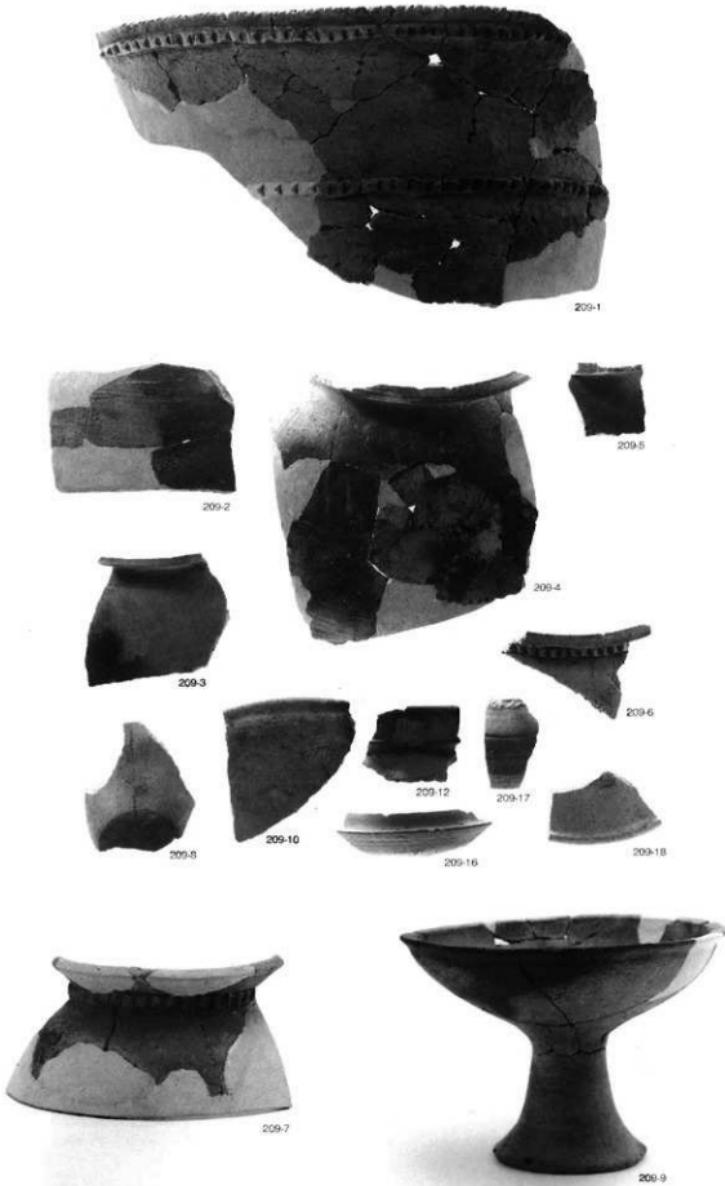
208-7

8区土器溜まり5出土遺物(2)



208-8

8区土器溜まり5出土遺物(3)



8区1層出土遺物(1)



209-11



209-14



209-15



209-13

8区1層出土遺物(2)



210-19



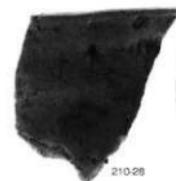
210-20



210-21



210-27



210-28



210-29

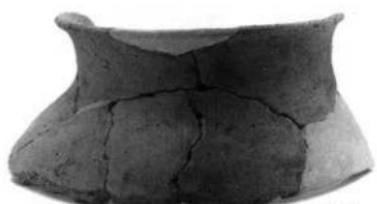


210-30



210-31

8区1層出土遺物(3)



210-22



210-23



210-24



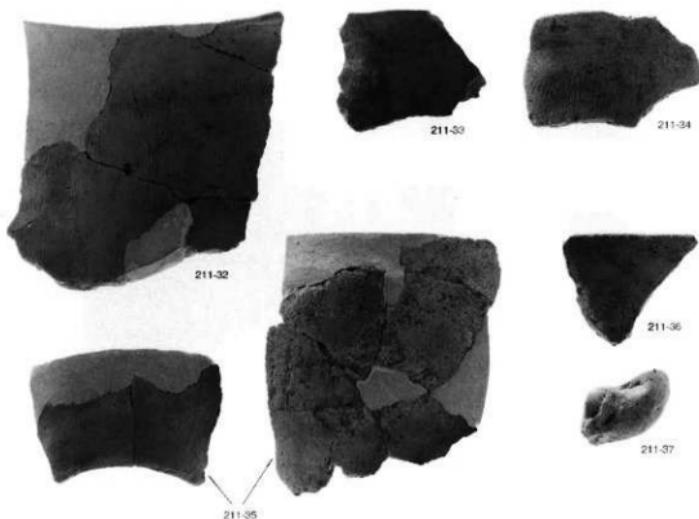
210-25



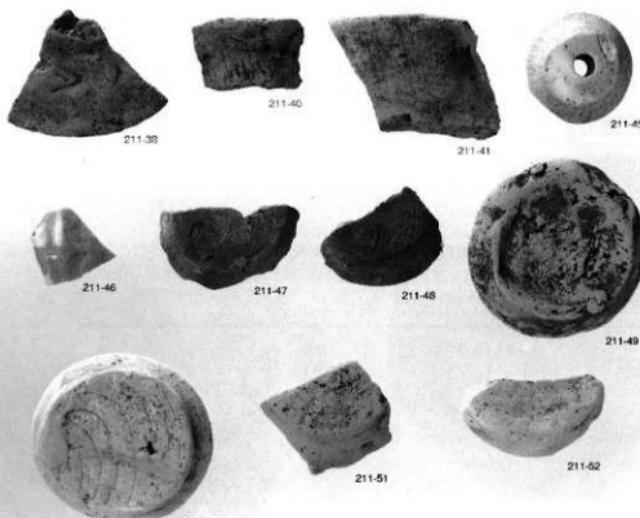
210-26



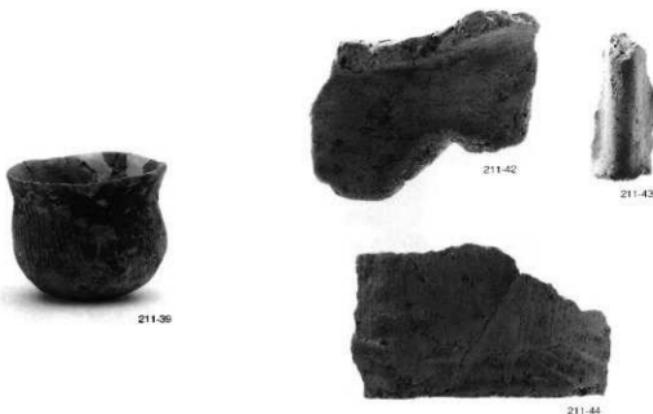
211-35



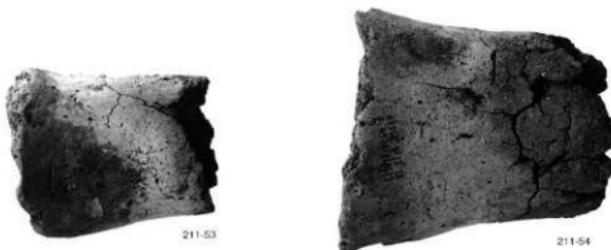
8区1層出土遺物(5)



8区1層出土遺物(6)



8区1層出土遺物(7)

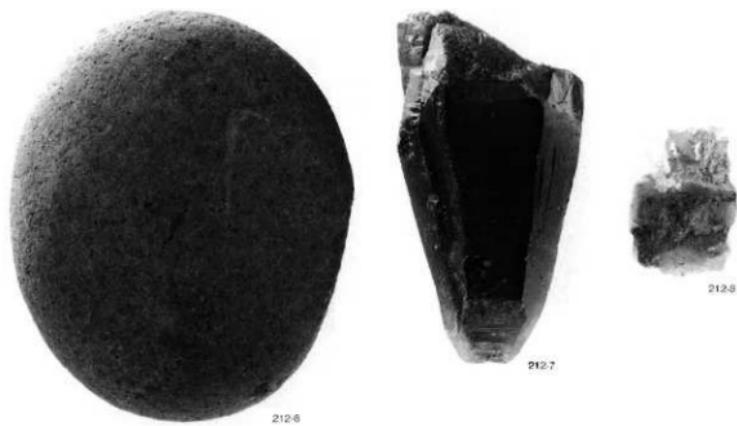


8区1層出土遺物(8)

图版175



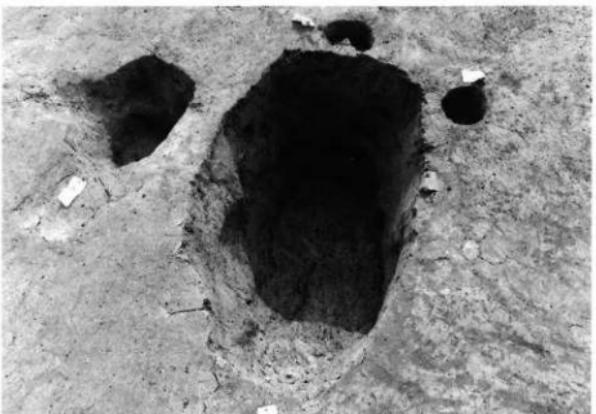
8区1层出土遗物(9)



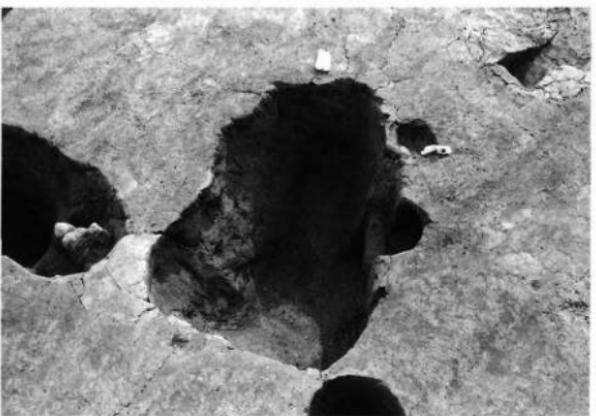
8区1层出土遗物(10)



9区SB01(北から)



9区SK02(東から)



9区SK05(北東から)